

# 長崎県民の健康・スポーツに関する調査研究

## ——とくに主婦のスポーツ活動について

神 文雄・山内 正毅・田井村明博

（昭和56年4月30日受理）

## Investigation of Health and Sports Activity in Nagasaki Prefecture

### —— Sports Activity of Housewives

Fumio JIN, Masaki YAMAUCHI and Akihiro TAIMURA

#### I（はじめに）

##### 目 的

近年、一般市民の健康・体力、それにスポーツに対する関心はとみに高まっている。それは確かに、生活に「ゆとり」が生じてきた結果からでもあろう。生産活動を中心に回転し、物資の畜積に向けての努力に集中していたかのような、かつての市民生活の構造からは予想し得なかったことである。

いちじるしい社会（生活）の変貌は、「機械的および省力化された今日、現代人の運動不足は「運動不足病」と呼ばれる半健康人を生じさせることにより、社会問題にさえなっている<sup>（注1）</sup>」と指摘されているように、生産活動に偏向していた過去の生活活動に大巾な転換を求め一方、新しい異質の活動を促進するバネともなってきた。

この新しい非生産的・消費活動（スポーツやレクリエーション活動等）は、元来、個人的次元で捉えるべき性格のものである。しかしながら、今日の市民社会にあっては未だ、未成熟な範疇に属している筈である。その成長過程の、過渡期にある今日の状況からすれば、とり敢えずは、社会・集団の次元の存在として取り扱うことが望まれよう。

それにもまして、この活動が国民の生活環境と絡み合っ、とくにスポーツとの関連においても捉えなければならないほどの存在であるにも拘わらず、かなり無為に見過ごされているかの感がある。それは「健康・体力、スポーツ」などの研究面からみて明らかであり、とくに学際的視点で強調されるところである。

そこでわれわれは、長崎県民の健康、スポーツの動向、課題などについて理解を深め、さらに具体的方策<sup>（注2）</sup>を展開するための基礎的研究に着手したわけで、県下各市町村の社会構造や、地域の特性を対比させながらすすめたものである。

## 仮 説

先行的調査・研究をはじめ、既存の資料などに基づいて、つぎのように設定した。

1. 地域の社会・経済的特性は、社会生活、健康にかなりの影響を及ぼしている。
2. コミュニティ・スポーツの展開は、地域住民のスポーツ活動に相当なる変容を来している。

## 調 査

つぎの要領で行った。

### 1 時 期

第1期（個人の調査）

自：昭和53年7月 — 至：昭和53年10月

第2期（行政機関への調査）

自：昭和55年1月 — 至：昭和55年2月

### 2 地 域

個人の調査にあつては、長崎県体育・スポーツの普及振興に関する長期計画の策定について<sup>(注3)</sup>、の地域類型に基づき、文部省・総理府などによる振興事業の指定市町村の制度<sup>(注4)</sup>、さらにその地域分布などを勘案して、実験群として10市町村を、対照群として8市町村を設定した。

なお、第1類型は長崎市のみに限定し、かつ市内の地区の特性を考慮して、実験群、対象群の2種類の地区を設定し、特殊なタイプに属する第5類型については、実験群のみを設定した。また、第1、第2、第3の各地域類型のそれぞれに関連ある地区として、とくに諫早市西諫早地区（ニュータウン）をそれにあてることとした。以上合わせて、21市町村である。なお、行政機関への調査は、県下79市町村のすべてとした。

表1 調査対象地域一覧

類 型	地 域	実 験 地 域	対 照 地 域
第1類型（都 市）		長 崎 市（指定地域）	長 崎 市（非指定地域）
第2類型（地方中心都市）		島 原 市	平 戸 市
第3類型（都市周辺地域）		長 与 町	川 棚 町
第4類型（農・漁村）		野 母 崎 町	大 瀬 戸 町
		有 家 町	南 有 馬 町
		加 津 佐 町	
		上 五 島 町	新 魚 目 町
		芦 辺 町	郷 の 浦 町
		鷹 島 町	
		巖 原 町	豊 玉 町
第5類型		鹿 町 町	田 平 町
その他		小 浜 町	
		諫早市西諫早地区（ニュータウン）	

### 3 内 容

個人の調査は、成人および児童・生徒の2種類とし、成人では、年齢、学歴、職業、収入、などの属性のほか、つぎにあげる、`健康、`や `スポーツ、`に関するものとし、児童・生徒については、`健康、`についてのみとした。

- |   |   |
|---|---|
| <p>1) -健康について-</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 既往症（病歴）</li> <li>② 自覚症状</li> <li>③ 喫煙（タバコ）</li> <li>④ 飲食（アルコール）</li> <li>⑤ 歩行時間とマイカー利用</li> <li>⑥ 日常の健康法</li> </ul> | <p>2) -スポーツについて-</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 在学中の経験</li> <li>② 好き・嫌い</li> <li>③ 最近の活動</li> <li>④ 将来への意欲</li> <li>⑤ 余暇（自由時間）活動</li> <li>⑥ 余暇（自由時間）利用の意欲</li> <li>⑦ 大会や行事への参加</li> <li>⑧ 現在の満足・不満足</li> <li>⑨ 地域のスポーツについて（意見）</li> </ul> |
|---|---|

行政機関への調査はつぎのとおりである。

- 1) -行政について-  
組織、社会体育費、行事など
- 2) -体育・スポーツの施設について-  
設置者の別、公共施設の設置の時期、学校施設の開放状況など
- 3) -体育協会について-  
役員、財源、加盟団体など

### 4 方法・対象

#### 1) 個人の調査

質問紙を用い、各地域とも小学校（5年生）中学校（2年生）を原則とし、存置していれば高等学校（2年生）をも含めて、児童・生徒とその保護者を対象とした。対象数は各学校とも2クラス、約100名とし、保護者についてはその1/2とした。各地域における対象校の抽出にあたっては、それぞれ市町村教育委員会の推薦によるものとし、配布・回収など、その後の手続きや方法に関しては、当該学校に一任した。ただし、実験地域の市町村については、スポーツ活動が比較的活発に行われている学校の推薦を得られるよう配慮した。また、成人の対象者の男女別均衡を図る意味で、原則として男子児童・生徒を通しては父親を、女子からは母親を対象とするよう、とくに依頼した。

#### 2) 行政機関への調査

県下79市町村、社会体育担当者会の開催にあたり、その席上で主旨を述べ、調査票を配布した。その後、約1ヵ月の猶予をもち、しかるべきのちに `郵送による回収、`を依頼した。なお、個人の調査の段階で、実験地域や対象地域として設定された21市町村に限っては、対比する資料などを補足する意味での、必要に応じた現地調査をも加えることとした。

### 5 回収・集計

#### 1) 個人の調査

$\left\{ \begin{array}{l} \text{一般成人} = \text{回収} \rightarrow 2,781 \text{票} \\ \text{児童・生徒} = \text{回収} \rightarrow 4,871 \text{票} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} \text{男子} \text{---} 1,421 \\ \text{女子} \text{---} 1,331 \end{array} \right.$	(無効 29)
	$\left\{ \begin{array}{l} \text{男子} \text{---} 2,451 \\ \text{女子} \text{---} 2,408 \end{array} \right.$	(無効 12)

## 2) 行政機関への調査

配布 79票, 集計 58票

## II (本 論)

スポーツを主婦とのかかわりからとり上げたものであるが、それはとくに「専業主婦」と称せられる人々についてである。

そこでまず、主婦から専業主婦を分離・選別しなければならない。ただ単に、「就労していない既婚婦人」とするだけでこと足りる筈はあるまい。「家あれば主婦あり、世帯主（男性に類型化がなされるならば、主婦についても同様、それぞれ分類基準がもたれて然るべききであろう。本論では「職業」をもってこれにあてることにした。

ここに生活形態からみて、農漁村地域では第1次産業が、市街地では第3次産業がそれぞれ優先し、「職住一致」<sup>(注5)</sup>という環境が支配的ななかで、社会生活における主婦の主体性の確立は、まずのところ望むべくもなかったであろう。しかし、給与所得者を配偶者にもつ主婦の場合は、「職住分離」<sup>(注5)</sup>という環境からして、主婦としての在り方も、「家庭にあつて家事・育児に専念するのが普通」<sup>(注6)</sup>といわれる「専業主婦」そのものであった。

昭和20年・第2次大戦の終結とともに、このような考え方は後退する。その後約15年、30年代後半の経済成長と時を同じくする社会変動によってさらに変容していった。消費革命・余暇産業などということばで代表されるこの状況変化にともなって、女性、そして主婦の日常生活上の役割も飛躍的に向上したが、進捗いちじるしい、「職住分離」という生活形態が強く影響したことを否認しないであろう。

「職住分離」という生活形態は、都市や都市に隣接する地域にみられる現象で、結果としては男女就労者に限っての、日常反復的な地域間の流動<sup>(注7)</sup>（住居⇄職域）を促進させている。それをうけて、依然として地域社会（住居）に生活の主体者として留まり、間接的にしろ社会変動や文化変容の影響を受けているのは専業主婦なのである。本論で「主婦」を対象とした所以である。

## A 対 象

対象となった全女性のなかから選別した専業主婦（以下主婦として統一する。）は549名（41.2%）である。

## 1 女性と主婦

まず居住地域は農漁村部が多く、その生活の拠点となる地方都市とを合せると、女性の4人のうち3人までになる。しかし主婦の割合は少ない。対照的に長崎市およびその周辺地域での特性は、女性人口そのものは少ないわりに主婦は比較的多いことで、都市化現象のひとつといってよいであろう。

年代別では40歳代が圧倒的で過半数をこえる。30歳代がこれにつづくが、50歳代はきわめて少ない。主婦は30歳代がわずかに多く、「若さ」がみられる。また、「年少の子供の年齢」からしても、女性全体では小学校の高学年を頂点にほぼ正規分布の形であるのに対して、主婦ではかなり低学年よりに傾いている。

女性全体としての学歴は、義務教育の段階が約半数を占める。それに対する主婦は高校段階が過半数で、高等教育段階も義務教育の段階にかなり接近し、かなり優位に立っている。

家庭の収入額は低額部分の比率が高く、300万円以下が過半数を占め、500万円以上となるとかなり少なくなる。主婦としては各分類の枠のなかにほぼ均等に分布し、400万円までの間に80%が該当している。

以上、概観した属性についてそれぞれ統計処理（ $X^2$ 検定）した結果、`年齢、を除いた以外、すべてに有意な関係を認めただけであるが、女性のなかに位置する主婦は、`農漁村部に多くが居住し、学歴は高校卒、年齢は40歳以下で、小学校低学年の子供を最年少にもつ、400万円以下の収入の家庭にある、とまとめられよう。

## 2 主婦の属性

主婦の属性を明らかにするために、その相互の関連を捉える作業（ $X^2$ 検定）を進めた結果、つぎの5項について有意な関係があることを認めた。注目しなければならないことは`収入、がか、わりの中核となっていることである。

1) `収入と地域、との結びつきでは、全体の80%程度が400万円以下にかたまっているが、長崎市では400万円以上が50%、300万円以上では80%がそれに該当するなどかなりの高額にある。これに比べて農漁村地域では400万円以上が15%程度で長崎市の1/3以下ときわめて少なく、300万円以下に集中している。都市周辺地域および地方都市はともに相似た様相で、その中間に位置している。

2) `学歴、との関連では、就学年数が増えるのにつれて、収入もまた増大する。義務教育段階はかなりの低額で300万円以下が70%を占めている。高校卒業では200~500万円の間で60%が分布しているが、高等教育の段階は19名と数が少なく、言及しうるまでには至らない。

3) `年齢、からは、各年代とも400万円以下が80%で全体と同じ傾向にはあるが、年代別の曲線を見ると、30歳代は上昇型を、40歳代は停滞型を、50歳代は中間が少なく、両極に分化している。

4) 収入を別としたかかわりでは`地域と学歴、がある。長崎市およびその周辺部では高校卒業以上が80%と比較的就学年数が長いものに対して、地方都市は僅かに及ばない程度であるが、農漁村地域に至っては約1/2ときわめて少ない。

5) ついでは`（本人の）年齢と最年少の子供の年齢、であるが、30歳代はほとんどが小学校高学年を最高に、中学校期の年齢がつゞく。50歳代は絶対数が少なく論外である。

このように、`主婦、は収入を母体としてその輪郭を形成しているとみてよいであろう。それは`収入と年齢、とが有意で結ばれるのは別として、`収入、が`地域、や`学歴、とそれぞれに絡み合っ有意性を示しており、三者一体となっているからである。

表2 女性の特性

		性	女
属性			
地 域			★★
年 齢			—
学 歴			★★
収 入			★★
子供の年齢			★

★ $P < 0.05$

★★ $P < 0.01$

表3 属性間の関連

属 性	地 域	年 齢	学 歴	収 入	子 供 の 年 齢
地 域	—	★★	★★	—	—
年 齢		—	★★	★★	★★
学 歴			—	★★	—
収 入				—	—
子供の年齢					—

★★ $P < 0.01$

## B 調査結果

まず量的に概観し、そのあと質的な考察を加えた上で要約した。

### 1 概要

以下の9項目についてである。

#### 1) 在学中の経験

「ある」のは非常に少なく、「ない」の半数以下であること、また、そのうちの10人に1人が「非常に」という、クラブレベルでの経験であろうと予想されるのだが、この二点を本論をすすめるにあたっての柱の一つとして採り入れた。欠かすことのできない要点とみたからである。

#### 2) 好き・嫌い

「好き」は「嫌い」に対してその比率の上ではきわめて優位にあるのだが、実質は！となると、半数を僅かに上回る程度である。このことを特に留意しておく必要がある。しかも、「自分でする、しない、は別として、」の数字なのであれば尚更のことである。「嫌い」である、と明らかに宣言するほどの、(スポーツの)アレルギー症状の所有者は至って少ないのであるが、微妙な点としては、依然として態度の不鮮明な中間派(スポーツ不感症)がかなり存在していることである。

「好き」とはいいながらも、自分で行うという段になるとかなり後退する気配がうかがえる。この場合の、「嫌い」というのと中間派を合せると、30%を超えてしまうことにもなり、前問との関連からしても、かなりの論議が必要となろう。

#### 3) 最近の活動

この1年の間、「ほとんどしなかった」が圧倒的に多く、ことスポーツにかかわる現実の動きはかなり低調である。「した」というのはようやく半数になる程度のもので、全体では4人のうちの1人でしかない。「したかったが出来なかった」という意欲型の存在がせめてもの慰みである。このあたりが主婦の実質的な(スポーツの)姿として理解しておきたい。

「していない」理由のトップは個人的になす術をもてない「暇がない」である。「下手だから」が2番目で、以下はそれぞれ10%程度の個人的次元による理由が「つづいている」。

「した」のは、まず「バレーボール」そして「なわとび」、「体操」、「バドミントン」などが「つづく」。その場所は「庭・家の周辺」が多く、そのあとを「道路や空地」、「学校」、「公共施設」が「つづく」など、正式なスポーツや公式にスポーツをする場所はあとへ、あとへと後退している。

スポーツに費やすのは2時間以内がほとんどである。時間的な位置づけとしては、いずれも平日をあげており、「夜間」が最も多い。このあとを「午後」、「午前」とつづき、「早朝」や「昼休み」は少ない。休日はほとんど敬遠されているが、主婦の立場としての、格別に顕著な動向として見つめておきたい。

だれとしたか、ということ「家族と一緒に」が断然多く、「個人的に」がこれにつづくが、ともに社会関係を小さく、ごく内輪に求めているところに特色がある。

スポーツをする理由の第一は、「健康のため」であり、「楽しみや気晴らしのため」、「体力を養うため」がこれにつづき、ベスト3を形成する。いずれも主婦にみられる特色なのであるが、それぞれの数字にはかなりの差異があるという点を確認しておきたい。

現在、約10人に1人がスポーツのクラブに所属しているという。ますます増えるであろうと予想されるこの傾向は、社会体育の究極につながるものであろうし、今後の地域スポーツ

を占うのにも恰好の資料を提供するものとなる。

#### 4) 将来への意欲

否定する数字がきわめて少ない、非常に気易く受け入れられる要素があるのだろう。軽スポーツを中心とした多彩な内容が求められており、必要な条件としては「時間」、「行事」、つづいて「クラブ」、「施設」があげられる。俗にいう、一次的基礎的条件から、より身近かな二次的条件へと移行しているように見える。また、だれということになると、「家族」、「仲間」が多く、「クラブ」、「スポーツ教室」などフォーマルな捉え方をせず、かなり私的方向に傾斜している。

#### 5) 余暇（自由時間）活動

大凡、1～3時間で約半数がこれに該当する。少ない方は1時間以内というのが10%をこえ、多い方の5時間以上は稀である。このような自由時間を背景とする主婦の現実の動きを追うことになるのであるが、平日では「テレビ・ラジオ」がトップ。ずっと離れて「趣味活動」がつづく。休日でも「テレビ・ラジオ」がトップにあることは変わりなく、「家庭での団らん」が2倍以上とかなり上昇しているのが目立っている。いずれにしても、視聴覚に関する反応が強いことが明らかであり、……し「ナガラ族」という表現とも合致する。また、平日と休日との間の余暇活動にもかなりの差異があることは明らかである。なんといっても、余暇活動のなかでの「特定のスポーツ」が低調なことは事実である。

#### 6) 余暇（自由時間）利用の意欲

「ある」と肯定したのが辛うじてながら過半数を超える程度である。この数字からすれば、いまだ余暇に関する積極的な肯定意識を掴みとることは出来ないであろう。

内容は「趣味活動」、「旅行」、「家庭での団らん」と上位に並ぶが、「スポーツ」はかなり下位に低迷している。余暇のなかでのスポーツの占める位置は、まずこの程度と感じとってよいであろう。

#### 7) 大会や行事への参加

二者択一という条件設定のなかではあるが、なんといっても「参加」した方が少ないという実態を、十分に認識しなければならない。さらにはこのなかで「役員や係りの人に頼まれた」という消極型の参加がトップであることは、まさに、「付き合い型」、「狩り出され型」の典型であるといつてよからう。

参加しなかった理由は、生活を基盤とする条件から、徐々にではあるがスポーツそのものもつ選択的条件に向かって移行しているように感じられる。

#### 8) 現在の満足・不満足

半数近くが意志を表わせないでいることは、この項目が別にとり立てるほどの存在にない、ということの意味するのであろうか。このことをも含んだ上での数字ではあるが、否定数が肯定数の約3倍であることを注目すべきである。とにかくもここでは「現在の運動（量）」では満たされないでいる、と理解しておきたい。その原因としては「やる気がない」がトップで、「時間がない」がつづいている。

#### 9) 地域のスポーツについて（意見）

スポーツを盛んにするためには、「広く一般住民の運動やスポーツの普及を図るべきだ」という社会体育型の意見が強い。無関心層の「わからない」がこれにつづいている。そしてこの両者を合せるとほぼ満杯になってしまい、「記録の向上を図る」が如き、たとえなりとも競

技スポーツを連想させるような意見は敬遠されている。

スポーツをさかんにするために大切なのは、場所や施設、をあげる意見が多い。他には、指導者、をはじめとしてそれほどでもない数字がつづくが、用具、と大会や行事、がきわめて少ないが目立っている。

それにも拘わらず、指導者、そのものについての意見を求めると、欲しい、という傾向が強い。また、求める指導者のタイプが、技術の指導、に多いことも合せば、この間にはかなりの矛盾があるように思われる。

学校の施設開放については、約半数が、地域住民のために別のスポーツ施設をつくるべきだ、といい、開放よりも、児童・生徒にもっと使わせるべきだ、というのを合せての、開放そのものについての消極的意見、はかなり強いように見える。それに比べて積極的に開放すべきだ、と住民本位を主張するのは、いかにも少数意見である。

自分自身の居住する市町村が、スポーツ振興のための事業をすすめている（国や県の事業指定を受けて）ことは、ごく一部についてしか認識されていない。現状ではかなり無関心のままにあり、それがたとえ公共によるものであったとしても、国や県・市町村の区別はつかず、また諸省庁別による事業の相違にしてもほとんど見分けることが出来ない段階であろう。

## 2 考 察

さきにまとめた結果の概要を十分に踏まえた上で、より密度の濃い成果を目指し、つぎの順序にしたがって作業をすすめた。

### 1) 手 順

まず調査項目（9項目）と主婦との関連を求めるために、主婦の属性（年齢、地域、学歴、家庭の収入、最年少の子供の年齢）とをクロス集計し、統計的に処理（ $X^2$ 検定）をした。

その結果、主婦有意、とされたのは7項目である（表4）。しかしこの7項目は、あくまでも主婦レベルで検討した結果であるので、さらに吟味する必要がある。つぎの段階は巾広く、女性全体の枠組のなかでの確認である。

このため属性のうちでたとえ一つであっても主婦有意、となった項目については、改めて属性のすべてに互って、女性、としての枠組で統計的な処理（ $X^2$ 検定）を重ねることにした。

最終的にはつぎの三つのタイプに分類された（表4）。しかし、(C)については、まさに女性自身、そのものであり、主婦の特性を表わすものとは断じ難いので、主として(A)（主婦にみられる積極的タイプ）、(B)（消極ながらも主婦にみられるタイプ）、に絞って考察の対象とした。

表4 検定結果の一覧

項 目	1	2	3	4	5		6	7	
	在 学 中 の ス ポ ー ツ 経 験	現 在 の ス ポ ー ツ 活 動	今 後 の ス ポ ー ツ 意 欲	大 会 や 行 事 へ の 参 加	余暇活動		余 暇 意 識	スポーツに対する意見	
					(休 日)	(平 日)		(振 興 策)	(学 校 開 放)
年 齢	B	C	—	C	—	A	C	C	—
学 歴	A	A	A	—	B	C	C	B	A
地 域	—	—	—	B	C	C	C	—	—
収 入	—	—	—	—	B	C	C	—	A
子 供 の 年 齢	—	B	B	A	B	—	C	—	C

2) 項目別の検討

前記(A)の積極型を中心に、また場合によっては、(B)の消極型にもまたがる要素を勘案しながら、各項目別にまとめた結果である。

① 在学中のスポーツ経験

ただ一つ、`学歴、に有意差がみられるのみで、時間的経過としてはおおよそ、15~25年の過去を振り返ることになる。また一步前進して主婦以外の立場からみたとしても、`年齢、に有意差があるだけの、比較的単純な傾向を示している。

② 最近のスポーツ活動と将来への意欲

現在と将来の間に相違点が全くなく、完全に合致しているところがまたとない特色である。有意差がみられるのは双方とも過去の経験と全く同じで、`学歴、のみである。そればかりではない。期せずして主婦以外での`子供の年齢、そして女性全体の場合での`(本人の)年齢、にそれぞれ有意差がみられるなど、三様な特性がまことに明らかである。

③ 余暇活動

平日では`年齢、に関してのみ有意差がみられる。`収入、`地域、`学歴、は女性としての次元で有意である。休日の場合の有意差は主婦以外の`収入、`学歴、`子供の年齢、にみられるだけである。このように、平日と休日、主婦と主婦以外との間には、`地域、を除けばかなりの相違点を見出せそうである。

④ 余暇利用の意欲

女性として、全く一致した態度をとっていることが明らかになった。これは本論における、唯一の、完全なる資料である。加えるに、属性のすべてからみて、主婦としてだけでなく、主婦以外からみても有意なのである。この点は他の項目と比べても、きわめて異常な結果と記録している。

⑤ 大会や行事への参加

主婦の主体的行動は低調のようである。有意差がみられるのは`(本人の)年齢、でなくして、`子供の年齢、であるというところに意義がある。主婦以外では`地域、に有意差が認められている。

⑥ 地域のスポーツについて (意見)

学校施設の開放については`学歴、と`収入、に有意差が認められている。ほかには、スポーツの振興について主婦以外の`学歴、があげられているだけである。

その他として、スポーツの`好き・嫌い、の別については、全属性にわたって`ナンセンス、であり、全く無視されている。

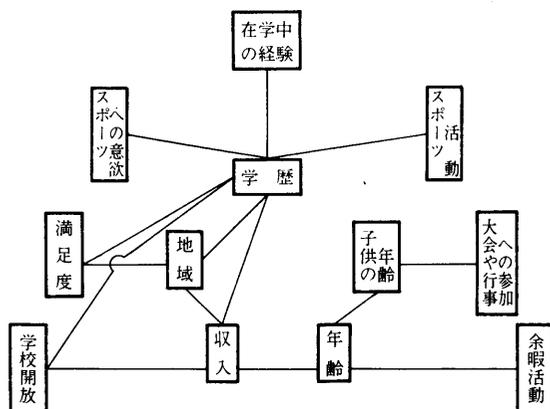


図1 属性からみた主婦のスポーツ

## 3) 項目間の関連

前記7項目のうち、`大会や行事への参加、は`現在のスポーツ活動、と同様な解釈をすることに、残り6項目からスポーツ活動を中心とした`3視点、を設定した。そして相互の関連を検討するために、クロス表(表5~表12)を作成し、統計処理( $\chi^2$ 検定)を行ったところ、すべての項目間に有意な関係が認められた。つぎに示すとおりである。

表5 スポーツ活動とスポーツ経験 (%)

スポーツ活動 \ スポーツ経験		スポーツ経験 (%)	
		ある	ない
した	N=130	46.9	53.1
したかったが 出来なかった	N=122	33.6	66.4
したいと 思わなかった	N=265	23.0	77.0

(P&lt;0.01)

表8 スポーツの好き嫌いとはスポーツ活動 (%)

スポーツの好き嫌い \ スポーツ活動		スポーツ活動 (%)		
		した	したかったが 出来なかった	したいと 思わなかった
好き	N=297	36.0	27.6	36.4
どちらとも いえない	N=181	11.6	21.0	67.4
嫌い	N=43	4.7	4.7	90.7

(P&lt;0.01)

表6 スポーツ活動とスポーツ意欲 (%)

スポーツ活動 \ スポーツ意欲		スポーツ意欲 (%)	
		ある	なし
した	N=120	92.5	7.5
したかったが 出来なかった	N=114	86.8	13.2
したいと 思わなかった	N=244	68.4	31.6

(P&lt;0.01)

表9 スポーツの好き嫌いとはスポーツ経験 (%)

スポーツの好き嫌い \ スポーツ経験		スポーツ経験 (%)	
		ある	ない
好き	N=298	50.0	50.0
どちらとも いえない	N=182	7.7	92.3
嫌い	N=41	4.9	95.1

(P&lt;0.01)

表7 スポーツ経験とスポーツ意欲 (%)

スポーツ経験 \ スポーツ意欲		スポーツ意欲 (%)	
		ある	なし
ある	N=155	89.7	10.3
ない	N=323	73.7	26.3

(P&lt;0.01)

表10 スポーツの好き嫌いとはスポーツ意欲 (%)

スポーツの好き嫌い \ スポーツ意欲		スポーツ意欲 (%)	
		ある	なし
好き	N=275	87.3	12.7
どちらとも いえない	N=165	76.4	23.6
嫌い	N=39	33.3	66.7

(P&lt;0.01)

表11 余暇利用意欲とスポーツ活動 (%)

余暇利用意欲	スポーツ活動 (%)			
	N	した	したかったが出来なかった	したいと思わなかった
あ る	266	32.7	22.9	44.4
どちらとも いえない	123	17.1	20.3	62.6
な い	106	14.2	26.4	59.4

(P<0.01)

表12 余暇利用意欲とスポーツ意欲 (%)

余暇利用意欲	スポーツ意欲 (%)		
	N	ある	なし
あ る	254	90.2	9.8
どちらとも いえない	101	71.3	28.7
な い	117	58.1	41.9

(P<0.01)

① 時 (過去→現在→将来) を媒介とした脈絡

過去の経験に比べれば現在の活動はきわめて活発である。このなかで約半数を占めているのだが、現在においても「したいが出来なかった」という数字を注目しなければならない。主婦にとっての、峻厳とする条件の未成熟さを指摘することにもなる。将来についてもきわめて旺盛なる意欲を表わしているが、これは当然のように、経験が豊かなほど、また、活動が活発なほど旺盛である。

② 「好き・嫌い」の別からの追求

「好き」なほど経験があり、活動が盛んで意欲も強いのだが、見逃せないのは、「好きと経験あり」そして「嫌いと経験なし」との関連である。過去にたとえ「好き」であっても経験できなかった、ということもあろうし、また、現在に至るまでのスポーツ観の変遷なども考慮しなければならない。当然、このような間隙から「好き」「嫌い」を表現できない多くの「無関心層」が生じてくることも予想されよう。

③ 余暇活動と対比しながらの探索

余暇利用の意欲が比較的強く、そのことがスポーツへの意欲とも充分に通じていることは明らかである。しかし、「余暇」にもまた「スポーツへの意欲」にも欠ける、いちじるしい後発的な存在もあり無視できない。また、現在のスポーツ活動との関連では、無関心層や否定型の過半数がやはりスポーツをも否定しており、前記の意欲ほどではないにしても、結びつきのあることが認められる。

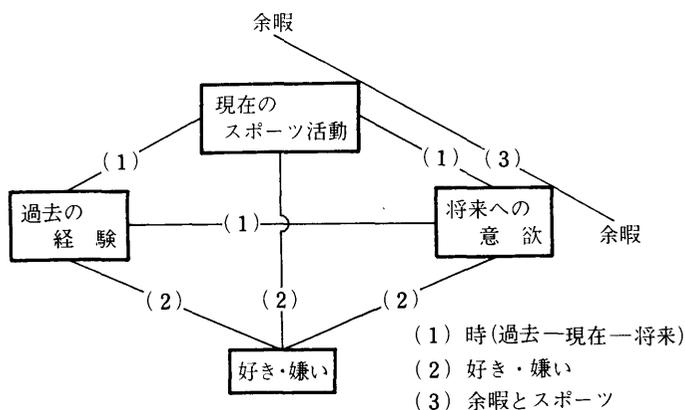


図2 項目間の視点

### 3 要 約

1) 属性からみて、主婦のスポーツに最も関係しているのは「学歴」である。過去（在学中の経験）→現在（最近の活動）→将来（今後の意欲）にまたがる影響はかなり巾広いものと思われる。

「子供の年齢」が連動するのは地域で企画された催し＝公的＝である。これに対して「(本人の)年齢」は余暇活動、なかんづく平日の活動と結びついているが、このことは主婦の行動基準にかかわる一つの資料を提供するものとみておきたい。

ほか「収入」と学校開放に関する意見との関連もあるが、まずのところ系統的なつながりはみられない。

要するに、主婦のスポーツに向けての恒常的認識は「学歴」によって大きくされている、と判断してよいであろう。そして、これにつづくのは「年齢」にあるものとみておいてよさう。

2) 時の移りとともにスポーツ活動も活発化してくる。といっても主婦の生活環境（スポーツ活動への条件）は依然として立ち遅れの傾向にある。現在でも「したかったが、できなかった、など、意識と態度の間にはかなりのギャップがみられている。

スポーツが「好き」なほど、過去に経験しているのは当然のことだが、それに加えてスポーツ活動もまた旺盛である。また、その旺盛なスポーツ活動が将来の余暇（自由時間）の利用やスポーツに対する意欲などと、充分に関連し合っていることが確認された。

3) それにしても冒頭掲げた本論の軸になる一つ、指定市町村の制度に関しては何ら触れられることもなく、ここに要約に入ってしまった。さて、「何も無かったのか」というとそうでもない、「あった」のである。わずかにワンポイントだけではあるが、「最近のスポーツ活動」そのなかの各論的要素に、吟味すべき内容が含まれていたのである。本論のここまでは主として総論的のものである。もう一步踏み込んで、現在の、である。「いつ、どこで、だれと、なにを、など」という点を目指したとき、指定市町村の制度が浮き彫りにされることであろう。

本論は膨大な調査資料のなかから、「スポーツ」に関する部分に限って考察したものである。「健康」に関する内容については別途まとめられることになっている。

本論にかかわる「スポーツ」にしても、男性については全く手を触れていないし、女性のなかでも「主婦以外」については同様な状況にある。これら残されているものについては今後さらに継続してとり上げていく予定である。また、この「個人の調査」と合わせてすすめている「行政機関への調査」の内容についても、目下検討中である。早い機会にまとめ上げ、両者の接点をも合せ、総合的な立場から考察を加えられるよう、努力している。

### 注

(1) 加藤橘夫、「機械文明と健康」、杏林書院、1975、日本学術会議国民生活特別委員会報告、P1～8にその要旨が記されている。

- 2) 東京都三鷹市や兵庫県明石市にその先行的典型がみられるのをはじめ、札幌市教育委員会、`市民の健康・スポーツに関する調査研究報告、1979、広島市社会体育研究調査会 `スポーツ施設設置基本計画に関する調査研究——スポーツの豊かな展開のために——、1979、などがある。
- 3) 長崎県スポーツ振興審議会による答申、昭和52年8月。
- 4) 神文雄・犬飼義秀、`スポーツ政策への一試論——スポーツ振興指定市町村制度の検討——、長崎大学教養部紀要（人文科学篇）第20巻、第2号、1980、P139に指定市町村一覧があり、24市町村を数えている。
- 5) 文部省 `社会体育——考え方・進め方——、1960、教育出版、P63～65に、`生活の場所が変りつつある、としてとり上げている。
- 6) 成瀬玲子 `婦人教育、日本の教育地図（社会教育編）1975、所収、P253。
- 7) 菅原 禮、`都市隣接地域における社会体育の現状、1964、東京教育大学体育学部研究紀要、P19。

資料 No.1 (表4に基づく項目)

項目	属性 カテゴリー	総計	性別		女			
			男 性	女 性	合 計	年 齢		
						30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代
在学中の経験	N	2,649	1,371	1,278	521	210	282	29
	① 非常によくやった	16.0	20.0	11.0	10.7	10.5	11.7	3.4
	② かなりやった	28.0	34.0	22.0	21.1	20.0	21.6	24.1
	③ あまりやらなかった	56.0	46.0	66.0	68.1	69.5	66.7	72.4
最近の活動	N	2,637	1,363	1,274	518	209	279	30
	① たびたびした(1週間に2~3時間)	8.0	10.0	7.0	7.7	10.0	6.5	3.3
	② ときたました(2週間に2~3時間)	19.0	24.0	15.0	17.4	21.5	15.8	3.3
	③ ほとんどしなかった(1年間に1~2回ぐらい)	41.0	40.0	42.0	42.1	40.2	44.8	30.0
	④ したいと思ったができなかった	21.0	18.0	24.0	23.4	23.0	22.2	36.7
	⑤ したいと思わなかった	11.0	9.0	13.0	9.5	5.3	10.8	26.7
将来への意欲	N	2,520	1,297	1,223	492	201	261	30
	① 非常にしたいと思っている	10.0	13.0	6.0	8.7	12.4	6.5	3.3
	② できればしたい	67.0	67.0	66.0	69.9	72.1	69.3	60.0
	③ したいとは思わない	24.0	21.0	27.0	21.3	15.4	24.1	36.7
※ 余暇(自由時間)活動 (平日)	N	5,133	2,668	2,465	993	406	526	61
	① テレビ, ラジオ	35.0	34.0	35.0	33.2	30.0	34.8	41.0
	② 新聞, 雑誌	14.0	15.0	13.0	12.2	11.6	13.1	8.2
	③ ご, しょうぎ, マージャンなど	1.0	3.0	0.0	0.3	0.5	0.2	0.0
	④ ごろ寝, 昼寝などの休息	11.0	12.0	10.0	8.5	7.9	8.2	14.8
	⑤ 庭いじり, けいごなどの趣味活動	10.0	8.0	13.0	19.0	20.2	18.6	14.8
	⑥ 読書(書籍)	3.0	3.0	3.0	4.4	4.9	4.4	1.6
	⑦ テニス, ゴルフ, ランニング, 体操などのスポーツ	2.0	3.0	1.0	0.9	1.2	0.8	0.0
	⑧ 団体の活動や講習会に参加する	1.0	1.0	1.0	2.2	1.5	2.9	1.6
	⑨ つり	3.0	6.0	0.0	0.3	0.2	0.2	1.6
	⑩ 家族や子供と団らん	10.0	6.0	15.0	10.1	12.8	8.4	6.6
	⑪ なんとなくぶらぶらすごす	5.0	5.0	5.0	5.3	5.4	5.9	0.0
	⑫ パチンコ	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑬ 雑誌	2.0	2.0	3.0	3.5	3.7	2.7	9.8

性のうち主婦のみ																	
学歴			地域類型					収入(円)					いちばん下の子供の年齢				
義務教育の学校	旧新制高等学校	旧短大・高専	第1類型	第2類型	第3類型	第4類型	第5類型	200万未満	200万～300万未満	300万～400万未満	400万～500万未満	500万以上	5歳以下	6歳～8歳	9歳～11歳	12歳～14歳	15歳以上
													5歳以下	6歳～8歳	9歳～11歳	12歳～14歳	15歳以上
216	235	24	69	70	40	324	23	113	115	107	59	30	74	101	189	92	51
7.9	11.9	16.7	17.4	11.4	10.0	9.3	8.7	9.7	8.7	13.1	11.9	10.0	9.5	15.8	10.6	9.8	5.9
21.3	19.6	50.0	23.2	14.3	20.0	22.8	17.4	25.7	17.4	15.9	20.3	33.3	23.0	17.8	20.6	25.0	17.6
70.8	68.5	33.3	59.4	74.3	70.0	67.9	73.9	64.6	73.9	71.0	67.8	56.7	67.6	66.3	68.8	65.2	76.5
212	235	25	67	68	41	324	24	112	115	106	58	30	75	101	187	90	51
8.5	6.8	12.0	4.5	8.8	9.8	8.0	8.3	4.5	8.7	11.3	8.6	6.7	8.0	10.9	6.4	8.9	3.9
11.8	20.9	32.0	22.4	10.3	26.8	16.0	25.0	17.9	11.3	20.8	20.7	23.3	18.7	20.8	20.9	8.9	7.8
41.5	44.3	36.0	44.8	48.5	41.5	41.0	29.2	40.2	48.7	37.7	44.8	36.7	40.0	42.6	43.9	46.7	37.3
25.5	21.7	16.0	22.4	22.1	14.6	25.3	16.7	25.9	20.9	19.8	22.4	26.7	28.0	20.8	19.3	22.2	37.3
12.7	6.4	4.0	6.0	10.3	7.3	9.6	20.8	11.6	10.4	10.4	3.4	6.7	5.3	5.0	9.6	13.3	13.7
202	223	21	66	66	38	305	22	116	103	101	53	28	75	96	173	88	48
5.4	9.4	19.0	10.6	10.6	10.5	8.2	0.0	6.0	3.9	11.9	11.3	7.1	13.3	9.4	10.4	4.5	4.2
65.3	75.8	76.2	72.7	71.2	84.2	67.5	68.2	68.1	72.8	72.3	71.7	71.4	76.0	75.0	65.3	68.2	68.8
29.2	14.8	4.8	16.7	18.2	5.3	24.3	31.8	25.9	23.3	15.8	17.0	21.4	10.7	15.6	24.3	27.3	27.1
410	454	48	133	133	81	612	44	220	222	203	113	58	142	194	351	180	99
38.0	31.1	16.7	21.8	33.8	27.2	36.3	34.1	40.0	35.1	27.6	31.9	25.9	30.3	32.0	33.3	36.7	34.3
10.0	13.4	20.8	13.5	15.0	17.3	10.6	9.1	9.5	13.5	13.8	9.7	15.5	11.3	144	12.0	12.2	10.1
0.0	0.4	2.1	0.0	0.0	1.2	0.3	0.0	0.9	0.0	0.5	0.0	0.0	0.7	0.5	0.0	0.6	0.0
10.5	5.5	12.5	8.3	5.3	3.7	10.1	4.5	13.2	6.3	5.9	3.5	8.6	4.9	8.8	7.7	8.9	15.2
14.4	22.9	25.0	28.6	18.0	23.5	16.5	20.5	12.7	18.5	19.2	29.2	25.9	19.7	15.5	22.2	16.7	15.2
1.5	6.4	10.4	7.5	6.8	3.7	3.4	2.3	1.4	3.2	5.4	8.8	6.9	6.3	2.6	5.1	5.0	1.0
0.5	1.5	0.0	2.3	0.0	0.0	1.1	0.0	0.5	0.5	2.0	0.0	3.4	1.4	1.5	0.9	1.1	0.0
1.5	2.9	0.0	1.5	1.5	6.2	2.1	0.0	2.3	0.9	3.4	0.9	1.7	1.4	2.6	2.6	2.8	0.0
0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.3	0.0	2.0
12.9	8.1	6.3	9.0	12.8	11.1	9.3	15.9	10.9	12.6	11.3	8.0	5.2	16.9	12.4	6.8	8.9	10.1
6.3	4.4	4.2	6.8	3.8	2.5	5.7	6.8	5.0	6.3	5.4	4.4	3.4	4.9	7.2	5.4	4.4	4.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4.1	3.1	2.1	0.8	3.0	3.7	3.9	6.8	3.2	2.7	5.4	3.5	1.7	2.1	2.6	3.7	2.8	8.1

項目	属性 カテゴリー	総計	性別		女			
			男 性	女 性	合 計	年 齢		
						30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代
余暇利用の意欲	N	2,607	1,344	1,263	508	206	271	31
	① ある	50.0	49.0	50.0	52.8	62.1	47.6	35.5
	② ない	27.0	28.0	26.0	25.0	17.5	28.4	45.2
	③ わからない	23.0	23.0	24.0	22.2	20.4	24.0	19.4
大会や行事への参加	N	2,490	1,280	1,210	485	197	259	29
	① 参加した	42.0	47.0	37.0	37.5	45.2	33.2	66.8
	② 参加しなかった	58.0	53.0	63.0	62.5	54.8	24.1	75.9
地域のスポーツの振興	N	2,410	1,235	1,175	472	187	256	29
	① 広く一般住民の運動やスポーツの普及をはかるべきだ	67.0	74.0	60.0	60.8	65.2	57.0	65.5
	② 市町村、ひいては県全体のスポーツの記録の向上に重点をおくべきだ	3.0	3.0	3.0	2.1	2.1	2.3	0.0
	③ 運動やスポーツの普及と記録の向上の両方をはかるべきだ	5.0	6.0	3.0	3.2	1.1	4.3	6.9
	④ わからない	25.0	17.0	34.0	33.9	31.6	36.3	27.6
学校施設の開放について	N	2,324	1,216	1,108	460	186	246	28
	① 積極的に開放すべきだ	21.0	23.0	19.0	18.7	17.7	19.9	14.3
	② 学校開放よりも児童・生徒にもっと使わせるべきだ	18.0	16.0	20.0	18.0	20.4	16.3	17.9
	③ 夜間・日曜日のみ開放した方がよい	12.0	12.0	12.0	10.4	9.1	10.6	17.9
	④ 管理面など問題が多いので開放しない方がよい	3.0	3.0	3.0	3.5	2.2	4.1	7.1
	⑤ 学校開放よりも地域住民のためにスポーツ施設をつくるべきだ	45.0	45.0	45.0	49.3	50.5	49.2	42.9

※印は選択の複数を示す

性のうち主婦のみ																	
学歴			地域類型					収入(円)					いちばん下の子供の年齢				
義務教育の学校	旧制高等学校	旧制・短大・専学	第1	第2	第3	第4	第5	200万未満	200万～300万未満	300万～400万未満	400万～500万未満	500万以上	5歳以下	6歳～8歳	9歳～11歳	12歳～14歳	15歳以上
			類型	類型	類型	類型	類型										
214	226	23	66	67	40	318	23	115	111	107	56	29	73	100	176	92	53
42.1	57.5	91.3	69.7	56.7	65.0	47.5	43.5	41.7	49.5	61.7	66.1	72.4	65.8	66.0	46.0	42.4	50.9
31.3	21.2	8.7	19.7	22.4	15.0	28.3	26.1	29.6	30.6	20.6	19.6	24.1	16.4	15.0	28.4	33.7	34.0
26.6	21.2	0.0	10.6	20.9	20.0	24.2	30.4	28.7	19.8	17.8	14.3	3.4	17.8	19.0	25.6	23.7	15.1
202	217	23	68	65	40	296	23	106	106	101	55	26	71	92	174	89	49
34.7	37.8	56.5	35.3	23.1	37.5	41.9	30.4	32.1	48.1	42.6	32.7	30.8	43.7	42.4	42.5	32.6	14.3
65.3	62.2	43.5	64.7	76.9	62.5	58.1	69.6	67.9	51.9	57.4	67.3	69.2	56.3	57.6	57.5	67.4	85.7
188	219	23	62	65	39	288	23	107	104	99	55	26	69	93	170	80	46
54.3	63.0	82.6	64.5	50.8	69.2	61.8	52.2	54.2	51.9	72.7	63.6	73.1	69.6	72.0	58.8	51.2	54.3
2.7	1.4	0.0	0.0	7.7	0.0	1.4	4.3	2.8	3.8	2.0	1.8	0.0	1.4	1.1	2.9	3.7	0.0
2.7	3.2	0.0	3.2	3.1	5.1	3.5	0.0	4.7	1.9	1.0	3.6	0.0	0.0	3.2	2.4	3.7	10.9
40.4	32.4	17.4	32.3	38.5	25.6	33.3	43.5	38.3	42.3	24.2	30.9	26.9	29.0	23.7	35.9	41.2	34.8
188	210	23	65	62	39	279	20	104	101	98	50	27	70	89	160	82	47
14.4	23.3	8.7	21.5	33.9	23.1	15.1	10.0	12.5	22.8	15.3	28.0	29.6	18.6	14.6	20.0	22.0	17.0
19.1	16.2	26.1	24.6	17.7	12.8	16.8	25.0	22.1	16.8	10.2	18.0	18.5	14.3	15.7	21.9	19.5	12.8
14.9	6.2	8.7	6.2	12.9	10.3	10.4	20.0	14.4	12.9	8.2	0.0	0.0	17.1	6.7	8.1	8.5	19.1
4.3	3.3	0.0	1.5	4.8	2.6	3.6	5.0	5.8	1.0	4.1	4.0	3.7	1.4	4.5	3.1	2.4	4.3
47.3	51.0	56.5	46.2	30.6	51.3	54.1	40.0	45.2	46.5	62.2	50.0	48.1	48.6	58.4	46.9	47.6	46.8

## 資料 No.2

項目	属性 カテゴリー	総 計	性別		主 婦
			男性	女性	
スポーツ好きか	N	2,667	1,375	1,292	521
	① すき	61.0	68.0	53.0	56.6
	② すきでもきらいでもない	33.0	28.0	37.0	34.9
	③ きらい	7.0	4.0	10.0	8.4
自分で すること が	N	1,753	985	768	324
	① すき	73.0	76.0	70.0	67.6
	② すきでもきらいでもない	23.0	22.0	24.0	25.9
	③ きらい	4.0	2.0	6.0	6.5
※ スポーツを しない理由	N	3,442	1,627	1,293	679
	① からだが弱く体力がない	6.0	5.0	7.0	11.0
	② すきでない	8.0	8.0	9.0	11.3
	③ 近くに施設がない	8.0	9.0	6.0	9.6
	④ 費用がかかりすぎる	0.0	0.0	0.0	0.4
	⑤ まわりの人の理解がない	2.0	1.0	2.0	2.7
	⑥ 運動がへた	9.0	6.0	12.0	16.1
	⑦ 仲間がいない	6.0	6.0	6.0	10.5
	⑧ 指導者がいない	2.0	1.0	2.0	3.7
	⑨ ひまがない	33.0	36.0	31.0	22.1
	⑩ 仕事でつかれてやる気がしない	25.0	27.0	23.0	12.7
※ スポーツを する場所	N	3,296	2,165	1,131	544
	① 家の庭や周辺	26.0	22.0	32.0	35.5
	② 道路や空地	13.0	13.0	15.0	17.6
	③ 学校	23.0	24.0	22.0	17.6
	④ 学校外の公共施設(公園, グランド, トレーニングセンターなど)	14.0	16.0	9.0	10.7
	⑤ 公民館	3.0	1.0	6.0	5.0
	⑥ 寺, 神社の境内	1.0	1.0	1.0	1.1
	⑦ 勤務先の施設	7.0	8.0	5.0	1.7
	⑧ ボーリング場, ゴルフ場, 美容体操教室などの商業施設	4.0	5.0	2.0	2.2
	⑨ スキー場, 海, 川, 山などの野外又は野外施設	8.0	9.0	7.0	8.6
1日の 実施時間	N	1,037	616	421	186
	① 20分以下	31.0	28.0	35.0	33.3
	② 30分ぐらい	28.0	30.0	26.0	25.3
	③ 1～2時間	32.0	33.0	31.0	32.3
	④ 2時間以上	8.0	9.0	8.0	9.1
実施する 時間帯	N	922	568	354	161
	① 平日の早朝(出勤前)	12.0	14.0	9.0	8.7
	② 平日の昼休み	8.0	9.0	6.0	1.9
	③ 平日の勤務時間後	11.0	15.0	5.0	0.0
	④ 平日の午前中	5.0	2.0	10.0	16.1
	⑤ 平日の午後	13.0	13.0	13.0	16.8
	⑥ 平日の夜間	18.0	9.0	32.0	34.8
	⑦ 休日の早朝	4.0	5.0	3.0	2.5
	⑧ 休日の午前中	9.0	13.0	4.0	5.0
	⑨ 休日の午後	14.0	15.0	13.0	8.7
	⑩ 土曜日の午前	1.0	1.0	1.0	1.2
⑪ 土曜日の午後	4.0	4.0	4.0	4.3	

項目	カテゴリー	属性		性別	主 婦
		総 計	性 別		
		男性	女性		
※ だれとするか	N	3,651	2,330	1,321	583
	① 地区や部落一員として	19.0	21.0	17.0	14.9
	② 青年団や婦人会の一員として	6.0	3.0	12.0	8.7
	③ 職場で	15.0	20.0	6.0	1.2
	④ スポーツクラブで	8.0	9.0	6.0	7.2
	⑤ 家族といっしょに	19.0	16.0	24.0	30.0
	⑥ PTAの一員として	7.0	6.0	9.0	8.4
	⑦ 近所の人と	8.0	7.0	11.0	11.7
	⑧ 個人的に	19.0	19.0	17.0	17.8
スポーツをする理由	N	3,172	1,346	926	407
	① 楽しみや気晴らしのため	26.0	25.0	27.0	24.6
	② 精神力を養うため	5.0	6.0	3.0	2.0
	③ 体力を養うため	14.0	15.0	11.0	11.3
	④ 健康のため	37.0	38.0	36.0	39.1
	⑤ 美容のため	1.0	0.0	3.0	2.2
	⑥ 仲間ができるから	6.0	6.0	7.0	6.4
	⑦ 勝利や記録を得るため	0.0	1.0	0.0	0.5
	⑧ 肥満防止	5.0	3.0	7.0	9.1
⑨ 老化防止	5.0	6.0	5.0	4.9	
クラブ団 体に	N	2,411	1,242	1,169	467
	① 入っている	14.0	17.0	10.0	12.4
② 入っていない	86.0	83.0	90.0	87.6	
※ 必要な条件	N	4,255	2,210	2,045	826
	① もっと経済的に楽になればよい	9.0	9.0	8.0	8.0
	② もっと時間的なひまがほしい	35.0	38.0	33.0	22.9
	③ もっと仕事や通勤が楽になればよい	9.0	11.0	8.0	3.0
	④ もっとまわりの人の理解がほしい	3.0	2.0	5.0	5.4
	⑤ もっと使える場所がほしい	12.0	14.0	10.0	14.6
	⑥ 手軽に参加できる行事があればよい	18.0	17.0	18.0	22.3
	⑦ 指導者がほしい	3.0	2.0	6.0	7.1
⑧ 手軽に入れるクラブがあればよい	9.0	7.0	12.0	16.6	
※ 望ましい方法	N	7,690	4,144	3,546	1,491
	① ひとりでやりたい	12.0	13.0	11.0	11.2
	② 家族といっしょに	35.0	32.0	38.0	37.6
	③ 仲間といっしょに	32.0	34.0	31.0	29.3
	④ クラブなどに入ってやりたい	11.0	11.0	10.0	10.5
⑤ 行事（スポーツ教室）に参加してやりたい	10.0	10.0	11.0	11.5	
現在の余暇 (自由) 時間	N	2,669	1,367	1,302	529
	① 1時間以下	22.0	20.0	24.0	13.8
	② 1～2時間	29.0	27.0	31.0	25.1
	③ 2～3時間	26.0	28.0	23.0	25.0
	④ 3～4時間	13.0	14.0	12.0	17.0
	⑤ 4～5時間	6.0	7.0	5.0	9.5
	⑥ 5～6時間	2.0	2.0	2.0	4.3
⑦ 6時間以上	3.0	3.0	3.0	5.3	

項目	属性 カテゴリー	総 計	性別		主 婦
			男性	女性	
※ 余暇 (自由時間) 活動 (休日)	N	4,204	2,359	1,845	686
	① テレビ, ラジオ	26.0	26.0	26.0	25.8
	② 新聞, 雑誌	7.0	8.0	5.0	3.8
	③ ご, しょうぎ, マージャンなど	2.0	3.0	0.0	0.0
	④ 昼寝などの休息	10.0	12.0	8.0	5.7
	⑤ 庭いじり, けいこごとなどの趣味活動	12.0	11.0	12.0	13.7
	⑥ 読書(書籍)	2.0	3.0	1.0	1.9
	⑦ スポーツをする	4.0	5.0	1.0	2.2
	⑧ 団体の活動や公衆会に参加する	2.0	2.0	2.0	1.0
	⑨ つり	6.0	10.0	1.0	1.0
	⑩ 家族や子どもとだんらん	13.0	8.0	20.0	23.5
	⑪ 映画, 観劇, 音楽会など	0.0	0.0	0.0	0.1
	⑫ パチンコ	1.0	2.0	0.0	0.1
	⑬ 買い物, 訪門	8.0	2.0	15.0	14.0
	⑭ なんとなくぶらぶらすごす	6.0	6.0	7.0	7.1
※ 余暇 (自由時間) 活動で 行いたいこと	N	6,459	3,338	3,121	1,291
	① ハイキングやキャンプなどの野外活動	8.0	7.0	8.0	9.5
	② 旅行	16.0	16.0	16.0	15.0
	③ ご, しょうぎ, マージャンなど	2.0	4.0	0.0	0.3
	④ 休養	12.0	12.0	12.0	7.8
	⑤ 庭いじり, 手芸などの趣味活動	14.0	12.0	16.0	17.7
	⑥ 読書(書籍)	7.0	7.0	8.0	8.5
	⑦ 野球, テニス, バレーボールなどのスポーツ	9.0	11.0	7.0	8.1
	⑧ 団体の活動や講習会に参加する	3.0	2.0	4.0	4.0
	⑨ つり	6.0	11.0	1.0	0.7
	⑩ 家族や子どもとだんらん	12.0	11.0	13.0	12.5
	⑪ 映画, 観劇, 音楽会など	4.0	3.0	5.0	5.8
	⑫ パチンコ	1.0	1.0	0.0	0.1
⑬ 買い物, 訪問	6.0	3.0	10.0	9.9	
大会や 競技会に 出場した 理由	N	2,008	1,163	845	328
	① 運動をすることが好きだから	23.0	27.0	20.0	23.5
	② その運動が好きだから	17.0	19.0	12.0	14.0
	③ 順番がまわってきたから	8.0	6.0	11.0	10.1
	④ くじびきで当たったから	1.0	2.0	2.0	0.9
	⑤ 毎年出場しているから	18.0	19.0	16.0	12.8
	⑥ 役員や係の人にたのまれたから	26.0	22.0	32.0	31.1
	⑦ 出ないと人にうるさく言われるから	3.0	2.0	5.0	4.9
⑧ 家の者に勧められたから	2.0	2.0	3.0	2.7	
大会や 競技会に 参加しな かった理 由	N	2,281	1,037	1,244	475
	① 運動をすることがきらいだから	9.0	7.0	11.0	12.0
	② 運動がへただから	19.0	13.0	25.0	31.4
	③ 参加する暇がなかった	36.0	44.0	30.0	24.4
	④ 体が弱かったから	9.0	6.0	12.0	16.4
	⑤ 仕事で疲れてやる気がなかった	24.0	29.0	21.0	11.6
⑥ 家の者が反対したから	2.0	1.0	3.0	4.2	

項目	カテゴリー	属性		性別	主婦
		総計			
現在での満足・不満	N	2,568	1,347	1,221	493
	① 大いに満足	5.0	6.0	5.0	4.1
	② 満足	13.0	14.0	13.0	9.7
	③ まあまあ	51.0	51.0	51.0	47.3
	④ 不満	25.0	24.0	26.0	30.2
	⑤ 大いに不満	6.0	5.0	6.0	8.7
不満な理由	N	1,793	903	890	358
	① 時間がないから	49.0	52.0	46.0	25.4
	② 場所がないから	5.0	6.0	4.0	5.9
	③ やる気がないから	24.0	23.0	25.0	32.7
	④ 相手がないから	4.0	3.0	6.0	9.5
	⑤ 指導者がいないから	2.0	1.0	3.0	5.6
	⑥ やる必要がないから	7.0	7.0	7.0	6.1
	⑦ 体が悪いから	7.0	6.0	8.0	13.4
	⑧ みっともないから	1.0	1.0	1.0	1.4
	⑨ お金がないから	0.0	0.0	0.0	0.0
※スポーツをさかんにすることに大切なこと	N	4,748	2,446	2,302	929
	① ひまな時間	15.0	14.0	17.0	11.4
	② 場所や施設	26.0	29.0	22.0	24.7
	③ 生活のゆとり	15.0	14.0	15.0	13.3
	④ 仲間やグループ	10.0	8.0	11.0	13.2
	⑤ 用具	2.0	2.0	2.0	1.3
	⑥ 大会や行事	4.0	7.0	3.0	2.2
	⑦ 指導者や世話をする人	11.0	11.0	13.0	15.6
	⑧ スポーツに対する意識の向上	11.0	11.0	11.0	11.3
	⑨ いつ、どこで、何があるかのPRが必要	5.0	5.0	5.0	7.0
指導者	N	2,042	1,240	1,162	473
	① ほしい	66.0	63.0	69.0	72.9
	② ほしいと思わない	34.0	38.0	31.0	27.1
どんな指導者か	N	1,622	802	820	356
	① 技術の指導をしてくれる人	53.0	50.0	55.0	56.5
	② 施設の世話をしてくれる人	14.0	19.0	9.0	6.7
	③ グループの面倒をみてくれる人	20.0	19.0	22.0	26.1
	④ 試合やゲームの審判やコーチをしてくれる人	13.0	12.0	15.0	10.7